Facebook
東京理科大学@TUS_PR

X
東京理科大学@TUS_PR

Instagram
@tokyouniversityofscience

東京理科大学

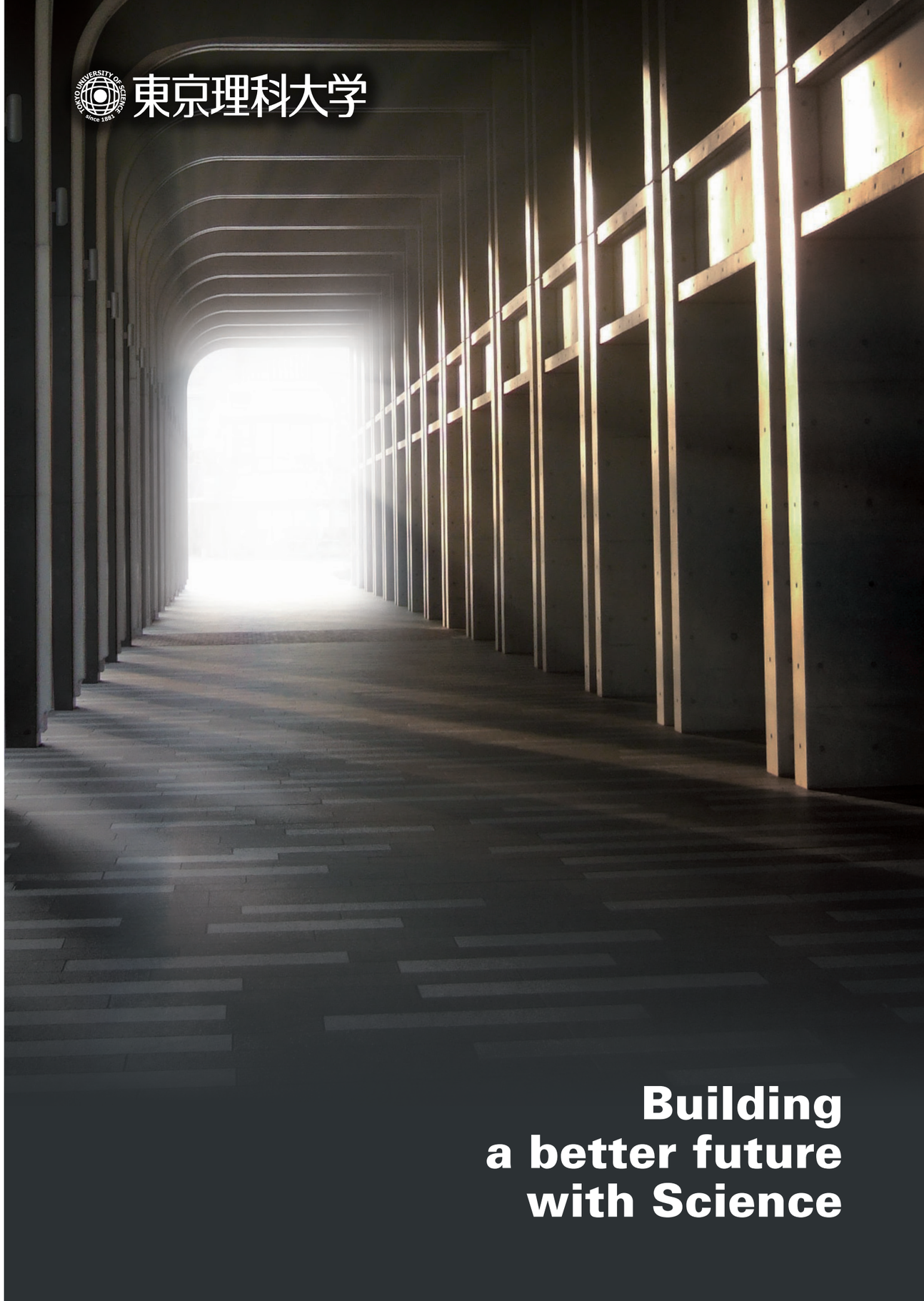
大学公式ウェブサイト　https://www.tus.ac.jp/

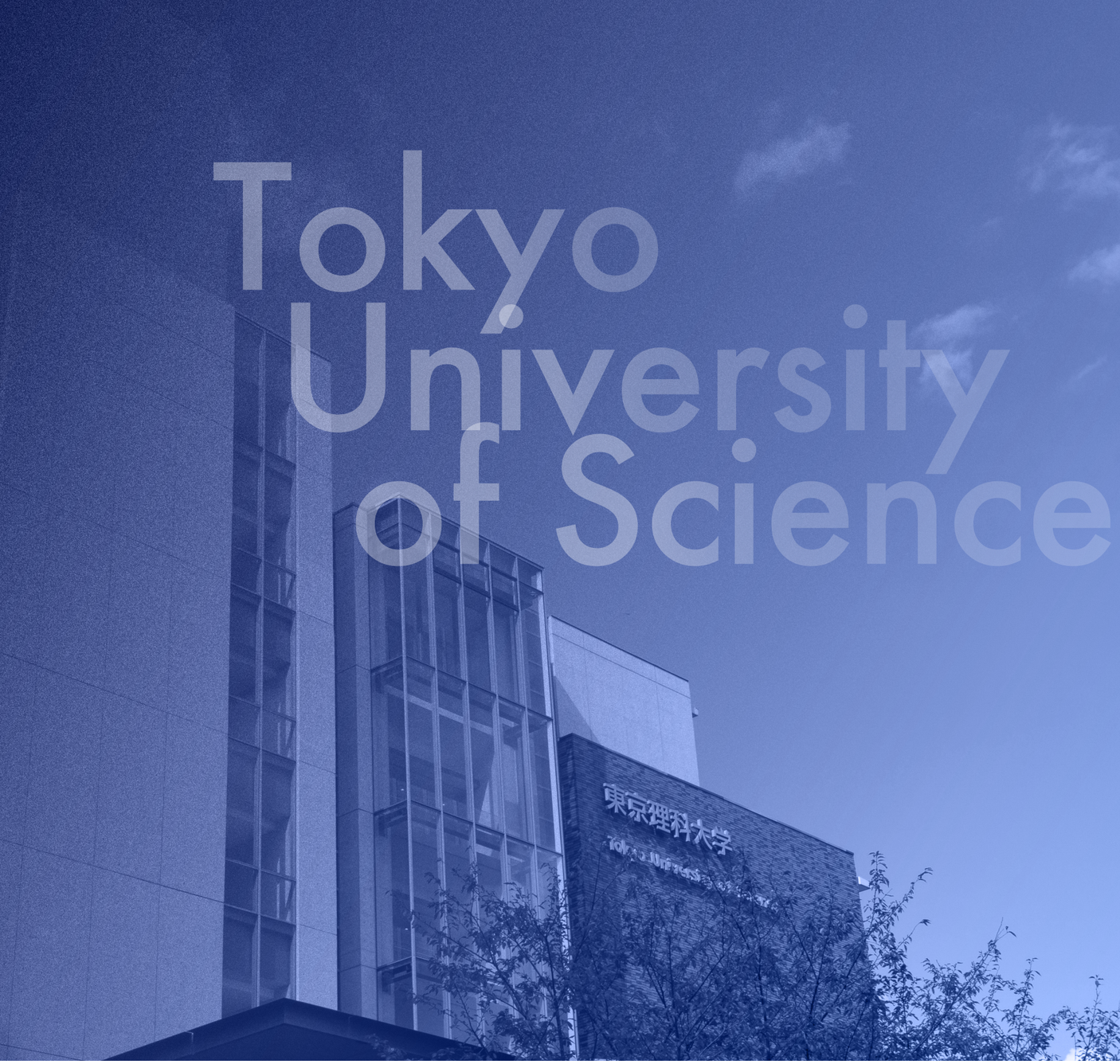
各種お問い合わせ先

【報道関係の方】
広報課
電話番号:03-5228-8107
メールアドレス:koho@admin.tus.ac.jp

【企業・研究者の方（共同研究・受託研究含む）】
産学連携機構（研究推進課）
電話番号:03-5228-7440
問い合わせフォーム:https://www.tus.ac.jp/ura/contact/collaboration_inquiry/

150 1881・2031 th
心躍る、未来創造
Building a better future with Science





真の力を養う実力主義

東京理科大学を象徴する言葉のひとつに「実力主義」があります。
本学の教育方針である「実力主義」は、明治14(1881)年の東京物理学講習所の開校以来、建学の精神とともに脈々と受け継がれてきました。本学における「実力主義」とは、「その人がもつ意欲や能力(実力)こそが一番大切である」という考え方に基づき、「真に実力を身に付けた学生だけが卒業できる」と解釈されてきました。
近年、大学を取り巻く環境は複雑化・多様化し、時代の変化のスピードは加速しています。これらを踏まえ、「今の時代に即し、かつ、次代に向けた実力主義とは何か」を考えることが必要だと考え、2020年度に再定義しました。
それが、以下に示す次代に向けた「実力主義」です。

次代に向けた「実力主義」 −Achieving Excellence−

高い志とノブレスオブリージュの精神

幅広い教養、正しい倫理観を備え、
社会が求めるものに対して使命感を持って応える
努力を惜しまず、人々の幸せや社会の発展・持続に
率先して寄与する精神

高い専門性と科学的思考力

高い専門性とともに、
その構築で培った論理的思考力と
エビデンスにもとづく科学的思考力

独創性と進取の気性

混沌とした自然や変化する社会の中から
新たな問題を感知し、独自の視点で物事を捉え、
柔軟な思考によって新しい学問領域や
イノベーションを創出する力

共創力

グローバルで高度に専門化した社会において、
多様な人々と積極的に交わり異質な
考えや能力を持つ人々と互いに長所を認め合い、
専門分野の壁をも乗り越えて共創できる力

**本学は、「未来を拓く実力」を備えた人材を育成するため、
今後も教職員が協力して教育研究の質を高める取り組みを続けていきます。**

建学の精神

Building a better future with Science

理学の普及を以て国運発展の基礎とする

この建学の精神は、21名の若き理学士らの「東京物理学講習所」創立時の情熱を基とし生まれたものであり、これが教職員の学生に対する教育指導の熱意につながり、在学生、卒業生さらには広く東京理科大学に関わりある人々の誇りを形作ってきました。

教育研究理念

Innovation in Science and Technology for Sustainable Development

自然・人間・社会とこれらの調和的発展のための科学と技術の創造

本学は、自然および生命現象の本質と原理を解明し人類の叡智の進展をめざす「理学の知」と、様々な物・技術・システムを構築して人類の活動の充実と高度化に貢献する「工学の知」を協働させ、「自然と人間の調和的かつ永続的な繁栄への貢献」をめざす教育と研究を行います。

ロゴマーク

ロゴマークは、創立125周年を機に制定されたもので、東京理科大学徽章をベースにデザインされています。
徽章はアインシュタインによって確立された一般相対性理論を図案化したものです。
太陽の重力によって曲げられる光と軌道を模式的に描いています。

ロゴマーク

東京理科大学徽章

東京理科大学のあゆみ

本学は、明治14（1881）年に東京大学を卒業後間もない21名の若き理学士らにより「東京物理学講習所」として創立され、
2年後に「東京物理学校」と改称されました。
当時は実験機器の購入などが難しく、理系私学の設立は敬遠されていましたが、「理学の普及を以て国運発展の基礎とする」を建学の精神に掲げた彼らは、東京大学から実験機器を夜間借りて、夜学としてスタートしました。
当時、本学は無試験入学ながら卒業生はその1割にも満たず、学生を厳しく鍛え、真に実力を付けた学生のみを世に送り出す「実力主義」の教育方針を掲げていました。この方針は本学の揺るぎない伝統として、今日も受け継がれています。

2025年度までの学位授与総数
［学部・大学院合計］
260,965人

1881

東京大学出身の
若き理学士ら21名が
「東京物理学講習所」を創立。


21名の理学士ら

1883

創立者の一人、寺尾壽が
初代校長に就任。



東京物理学校雑誌
第一号

「東京物理学校」と改称。

1887

東京物理学校で学んだ
屋井先蔵氏が、世界に
先駆けて乾電池を発明。

屋井乾電池

1906

牛込神楽坂に新校舎が完成。
理学教育の「先駆的存在」として受講生が
全国より集結。「落第で有名な学校」として
世に知られるようになる。


牛込神楽坂校舎

夏目漱石が小説『坊っちゃん』を発表。
主人公は東京物理学校（物理科）を卒業
した設定。

1916

東京物理学校卒業生 小倉金之助氏が
学位を取得。
私学初の理学博士誕生。


小倉金之助氏

1949

学制改革により「東京理科大学」の名の
下に新時代が開幕。理学部のみの単科
大学として新たなスタートを切る。

本多光太郎が初代学長に就任。


本多光太郎初代学長

1958

大学院 理学研究科修士課程を設置し、
教育・研究の基礎を確立。

1960

薬学部を設置。
さらに1962年に工学部を設置。
（1976年 工学部第一部に名称変更）

1966

野田キャンパスの利用を開始。
さらに1967年に理工学部を設置。


野田キャンパス

1981

東京理科大学創立100周年記念式典を
挙行。



東京理科大学創立100周年記念式典

1987

基礎工学部を設置。
北海道・長万部キャンパスを開設。


北海道・長万部キャンパス

1991

東京物理学校理化学部卒業生 二村冨久
氏の寄付により神楽坂キャンパスに近代
科学資料館（二村記念館）竣工。


近代科学資料館

1993

経営学部を設置。
私学随一の理工系総合大学へと発展。

1996

私大初の「連携大学院」を発足。
国と民間、合わせて18の研究機関と連携。
客員教授の招聘、学生の研究機関派遣
などを通して技術交流を図る。

2002

理学部第一部応用化学科卒業生 森戸
祐幸氏の寄付により森戸記念体育館およ
び森戸記念館を竣工。

2004

専門職大学院を設置。総合科学技術と
経営の実践的な融合を目標とする技術
経営教育を行う。

2013

教育・研究の新たな拠点として
葛飾キャンパスを開設。


葛飾キャンパス

2015

本学の理学研究科修士課程を修了した
大村智特別栄誉博士がノーベル生理学・
医学賞を受賞。


大村智博士

2016

工学部第一部を工学部に名称変更。

2021

基礎工学部を先進工学部に名称変更。

2023

理工学部を創域理工学部に名称変更。

2024

葛飾キャンパスに共創棟が竣工。
2025年に薬学部が葛飾キャンパスに移転。


葛飾キャンパス共創棟

2026

33年ぶりとなる新学部、
創域情報学部を新設。
理学部第一部に科学コミュニケーション
学科を新設。



250,000
200,000
150,000
100,000
50,000
0（学位授与数）

1881
1950
2000

長期ビジョン

TUS VISION 150 Plus

東京理科大学
創立150周年となる2031年、そしてその先へ

長期ビジョン「TUS VISION 150 Plus」

社会の変化や多様化する大学への要請に応えるため、学校法人の運営および財務体質の健全性を維持しながら、建学の精神に基づく教育研究活動を推進していくことが重要となります。そのために法人と教学が共通の認識のもと相互に連携しながら、本学の持続的な発展に向けた取り組みを着実に実行していくことが求められます。
本学では、これまで長期ビジョン「TUS VISION 150」を示し、創立150周年を迎える2031年を見据え、本学の目指す方向性を“日本の理科大から世界の理科大へ”とし、創立150周年時における「理科大の姿」を描き出すことで、今後の進むべき道筋を明らかにしました。
一方で、本学を取り巻く外部環境が急速に変化していることを踏まえ、今後の本学の取り組みのマイルストーンを示す次期中期計画の策定にあたり、創立150周年となる2031年、さらにその先の社会を見据えた長期ビジョン「TUS VISION 150 Plus」を策定・公表することといたしました。
この「TUS VISION 150 Plus」では、新たに「一世界の未来を拓くTUS一」を掲げ、本学が果たすべき役割や目指す将来像を明確にし、その実現に向けて展開していきます。

日本の理科大から世界の理科大へ
—世界の未来を拓くTUS—

長期ビジョンの実現に向けて

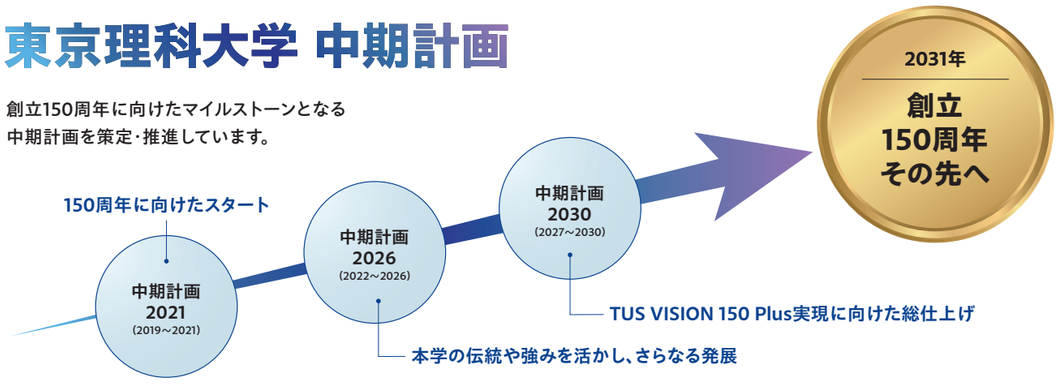
東京理科大学は、長期ビジョン「TUS VISION 150 Plus」をもとに社会の発展に寄与し、より一層の貢献を果たすことを目指していきます。その実現に向け、日本における技術革新の原動力となり得る人材を育成するとともに、各分野を牽引する研究成果を創出することで、科学技術の発展に寄与し、国際社会に貢献していきます。こうした取り組みを通じて、世界において広く認められる大学を目指します。そのために、本学は長期ビジョン「TUS VISION 150 Plus」を指針とし、右に示す「理科大の姿」を具現化していきます。この長期ビジョン「TUS VISION 150 Plus」に掲げる「理科大の姿」を具現化し、本学が我が国の理工系総合大学の旗手として持続的に発展していくために果たすべき役割を明確にしていきます。

『理科大の姿』

I　科学の知を社会に活かしイノベーションの創出に貢献する人材の育成
II　基礎から応用まで世界をリードする分野横断・融合的な研究の推進
III　多様性に富む学際的人材や国内外のステークホルダーが集う場の形成
IV　ブランド価値を高めながら教育研究に専心できる基盤の維持

東京理科大学 中期計画

創立150周年に向けたマイルストーンとなる
中期計画を策定・推進しています。



東京理科大学創立150周年記念事業

本学は2031年に迎える創立150周年を見据えて、学内外の機運を高めるための取り組みを順次展開しています。
最新情報は周年事業サイトにて掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

150周年事業サイト

ロゴマーク



周年事業コンセプト

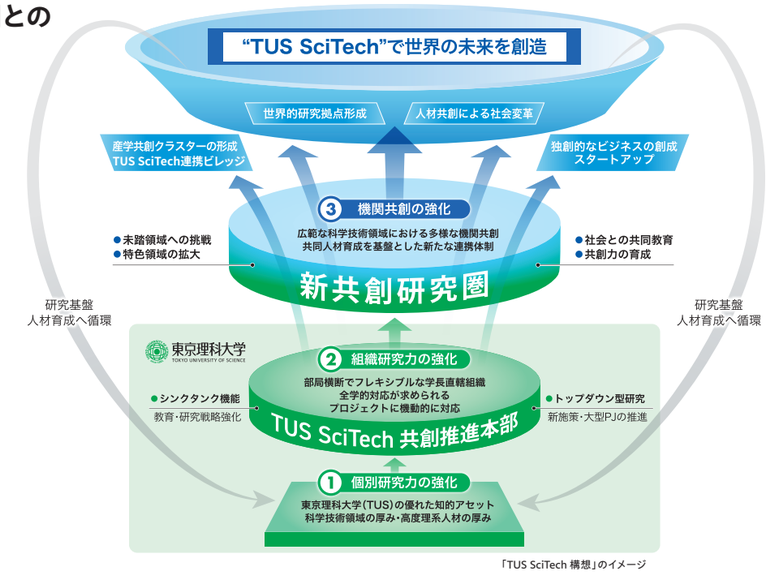
心踊る、未来創造
Building a better future with Science

教育と研究を通じて新たな価値を創造し、誰もが心躍るような未来を築いていく——
建学の精神「理学の普及を以て国運発展の基礎とする（Building a better future with Science）」を現代の視点から捉え直し、創立150周年記念事業のコンセプトとしました。
ロゴマークは、これまで連綿と東京理科大学に蓄積されてきた知識や科学技術が「結晶化された知能の積層」となっている様子を表し、本学が「知能の集約拠点」として発展してきた歴史そのものを象徴しています。
また、「輪」のデザインは、知能の積層をつなぐネットワークと、「大学に関わる人と人をつなぐ絆（輪）」の意味が込められており、本学の過去・現在・未来をつなぐ創立150周年記念事業を表現しています。

TUS SciTech構想

共創によるイノベーション創出を促進するための外部機関との連携強化

「TUS SciTech構想」は、東京理科大学ならではの独創的かつ分野横断的な教育研究を重点的に強化することにより、本学が世界と伍する研究大学として、国内外から優れた研究者が集う研究拠点へと発展することを目指すものです。本構想の実現には、大学全体の教育研究活動を俯瞰し、それらを統合的かつ戦略的に融合する機能の強化が不可欠です。また、学内に留まらず、多くの機関と有機的に連携し、新たな「知」や「社会的価値」を共創する体制の強化も求められる中、TUS SciTech共創推進本部では、TUS SciTech構想に基づき、中長期的な観点から推進すべきプロジェクトや領域横断的な教育研究プロジェクト等を、迅速かつ柔軟な体制のもとで推進しています。



「TUS SciTech 構想」のイメージ

組織図 （2026年4月1日現在）

Organizational chart

（※）2026年度から学生募集停止

学校法人東京理科大学

東京理科大学

【学部】

理学部第一部
●数学科 ●物理学科 ●化学科 ●応用数学科
●応用化学科 ●科学コミュニケーション学科

理学部第二部
●数学科 ●物理学科 ●化学科

薬学部
●薬学科 ●生命創薬科学科

工学部
●建築学科 ●工業化学科 ●電気工学科
●情報工学科 ●機械工学科

創域理工学部
●数理科学科 ●先端物理学科
●情報計算科学科（※） ●生命生物科学科
●建築学科 ●先端化学科 ●電気電子情報工学科
●経営システム工学科（※）
●機械航空宇宙工学科 ●社会基盤工学科

創域情報学部
●情報理工学科

先進工学部
●電子システム工学科 ●マテリアル創成工学科
●生命システム工学科 ●物理工学科
●機能デザイン工学科

経営学部
●経営学科 ●ビジネスエコノミクス学科
●国際デザイン経営学科

【大学院】

理学研究科
●数学専攻 ●物理学専攻 ●化学専攻
●応用数学専攻 ●科学教育専攻

薬学研究科
●薬学専攻（博士課程） ●薬科学専攻

工学研究科
●建築学専攻 ●工業化学専攻
●電気工学専攻 ●情報工学専攻 ●機械工学専攻

創域理工学研究科
●数理科学専攻 ●先端物理学専攻
●情報計算科学専攻 ●生命生物科学専攻
●建築学専攻 ●先端化学専攻
●電気電子情報工学専攻 ●経営システム工学専攻
●機械航空宇宙工学専攻
●社会基盤工学専攻 ●国際火災科学専攻

先進工学研究科
●電子システム工学専攻 ●マテリアル創成工学専攻
●生命システム工学専攻 ●物理工学専攻
●機能デザイン工学専攻

経営学研究科
●経営学専攻 ●技術経営専攻（専門職学位課程）

生命科学研究科
●生命科学専攻

理学専攻科
●数学専攻

教養教育研究院
●神楽坂キャンパス教養部
●野田キャンパス教養部
●葛飾キャンパス教養部
●北海道・長万部キャンパス教養部

【教育支援機構】 教育DX推進センター / 科学教育連携センター

【研究推進機構】 総合研究院
●研究センター ●共同利用・共同研究拠点 ●研究拠点
●研究部門 ●共創プロジェクト ●寄附研究部門
生命医科学研究所 / 研究機器センター

【産学連携機構】
●イノベーション創成部門 ●起業支援・地域連携部門 ●知的財産部門

【学生支援機構】 学生支援センター / キャリア支援センター
●学生相談室

【国際化推進機構】 国際化推進センター

【データサイエンスセンター】

【TUS SciTech共創推進本部】

【環境安全センター】

【図書館】 神楽坂図書館 / 野田図書館 / 葛飾図書館 / 北海道・長万部図書館

【近代科学資料館】 数学体験館 / なるほど科学体験館 / サイエンス道場

学生数・教員数 （2026年5月1日現在）

学生数
Students
21,182人
※専攻科含む

- ■学部生 Undergraduate Students **17,267人**
- ■大学院生 Graduate Students **3,905人**

外国人留学生数
International Students
24カ国から851人

専任教員数
Faculty
821人

- ■女性教員 Female Faculty **113人**
- ■外国人教員 International Faculty **56人**

事務組織 （2026年4月1日現在）

理事会
- 監査室
- **事務総局**
  - 周年事業準備室
  - DX推進室

総務部 【総務課】●契約室 ●地域連携室
【危機管理・コンプライアンス推進室】

経営企画部 【経営企画課】●秘書室
【事業企画課】
【広報課】●資料館事務室

財務部 【財務課】●募金事業事務室

管財部 【管財課】●環境安全管理室
【野田管財課】●環境安全管理室
【葛飾管財課】●環境安全管理室

人事部 【人事課】
【人材開発課】●ダイバーシティ推進室

入試部 【入試課】
【入試広報課】

学務部 【学長事務課】●大学評価・IR室
【学務課】●図書館事務室 ●野田図書館事務室 ●葛飾図書館事務室
【国際支援課】

研究推進部 【研究推進課】●公的研究費管理室 ●産学連携推進室
【野田研究推進課】●公的研究費管理室
【葛飾研究推進課】●公的研究費管理室

学生支援部 【学生支援課】●保健管理センター事務室 ●奨学金事務室 ●留学生支援室
【就職課】
【野田学生・キャリア支援課】●留学生支援室
【葛飾学生・キャリア支援課】●留学生支援室
【校友・父母支援課】

教務部 【教務課】●教養教育研究院事務室 ●教職課程支援室
【理学事務課】●理学部二部事務室
【経営学事務課】●専門職大学院室 ●長万部事務室

情報システム部 【情報システム課】●ITサポート室 ●野田ITサポート室 ●葛飾ITサポート室

野田統括部 【野田統括課】●地域連携室
【創域理工学事務課】●生命研事務室
【創域情報学事務課】

葛飾統括部 【葛飾統括課】●地域連携室
【薬学事務課】
【工学事務課】
【先進工学事務課】

データで見るTUS

Rankings & Results of TUS

1位

教育力が高い大学
ランキング 私大１位

2025年度大学通信調べ　進路指導教諭が評価する大学

研究力が高い大学
ランキング 私大１位

2025年度大学通信調べ　進路指導教諭が評価する大学

大学別実就職率
ランキング 全国１位

2025年度大学通信調べ　実就職率ランキング
卒業生4,000人以上の大規模大学

デジタル人材の育成に期待する大学ランキング 全国1位

2024年日経HR調べ　人事が見る大学イメージ調査

共同研究ベンチャー数 私大１位

令和7年度 大学発ベンチャー実態等調査

修士授与数ランキング 理学分野 私大 1 位

文部科学省資料より

QS 世界大学ランキング 2027 国内私大 1 位

「教員1人あたりの論文被引用数」指標

2位

入学後、生徒を伸ばしてくれる大学 私大 2 位

2025年度大学通信調べ　進路指導教諭が評価する大学

THE 学際科学ランキング 2026 国内私大 2 位

91の国・地域から911の大学がランクイン

修士授与数ランキング 工学分野 私大 2 位

文部科学省資料より

研究室数

430

大学院進学率

55.2%

電子ジャーナル

12,729タイトル

世界のトップ2%の科学者

80人

ランクイン

米国スタンフォード大学とエルゼビア社による発表

中学・高校教員採用者数

51人

東京理科大学オープンカレッジ2026年度講座開講数

440講座

〈貸借対照表〉

2026年3月31日（単位：円）

資産の部		本年度末	前年度末	増減
固定資産		173,219,972,218	175,984,823,044	△2,764,850,826
内訳	有形固定資産	115,433,879,286	118,303,999,656	△2,870,120,370
内訳	特定資産	43,500,394,444	43,371,621,921	128,772,523
内訳	その他の固定資産	14,285,698,488	14,309,201,467	△ 23,502,979
流動資産		18,321,804,259	13,120,970,631	5,200,833,628
資産の部 合計		191,541,776,477	189,105,793,675	2,435,982,802

負債の部	本年度末	前年度末	増減
固定負債	12,422,230,551	13,938,418,278	△1,516,187,727
流動負債	14,473,750,417	12,133,263,627	2,340,486,790
負債の部 合計	26,895,980,968	26,071,681,905	824,299,063

純資産の部		本年度末	前年度末	増減
基本金		216,983,396,989	214,664,860,467	2,318,536,522
内訳	第1号基本金	188,226,396,989	185,907,860,467	2,318,536,522
内訳	第3号基本金	26,160,000,000	26,160,000,000	0
内訳	第4号基本金	2,597,000,000	2,597,000,000	0
翌年度繰越収支差額		△52,337,601,480	△51,630,748,697	△ 706,852,783
純資産の部 合計		164,645,795,509	163,034,111,770	1,611,683,739

負債及び純資産の部合計	191,541,776,477	189,105,793,675	2,435,982,802

本学では、将来を見据えた財務基盤の強化を図るため、収入の多様化と支出の最適化を両輪とする取り組みを推進してきました。その結果、企業会計の経常利益に相当する「経常収支差額」は、2025年度において約29億円となり、安定した収支を確保しています。
また、企業会計の自己資本比率に相当する「純資産構成比率」は86.0%と高い水準を維持しています。負債及び純資産の構成において純資産が大部分を占めていることから、借入金に依存しない健全な財務基盤を保っています。
近年、経常収支差額は安定的に推移しており、本学の財務健全性を維持するための基盤が構築されております。この基盤を活かし、本学の教育力・研究力の向上と、学生のための大学生活環境の整備を一層推進してまいります。

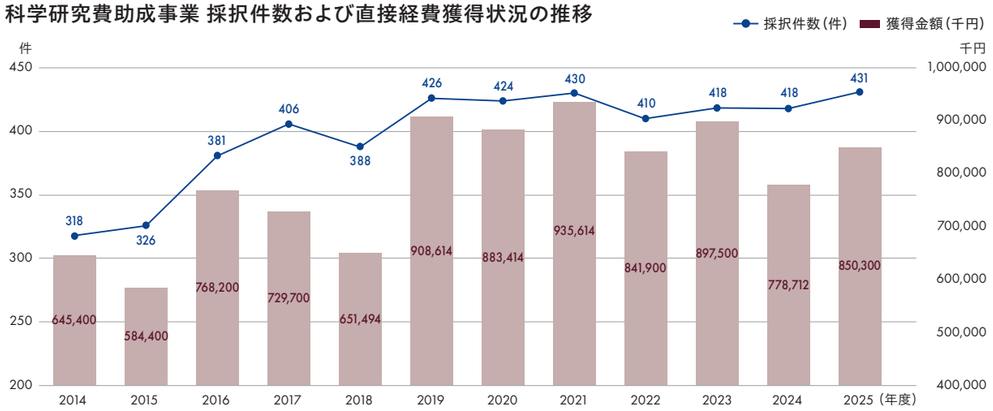
〈事業活動収支計算書〉

2025年4月1日から2026年3月31日まで（単位：円）

		科　目	予　算	決　算	差　異
教育活動収支	収入の部	学生生徒等納付金	27,636,000,000	28,657,255,033	△ 1,021,255,033
		手数料	1,684,300,000	1,866,403,106	△ 182,103,106
		寄付金	768,900,000	765,292,972	3,607,028
		経常費等補助金	3,829,500,000	5,756,367,585	△ 1,926,867,585
		付随事業収入	3,948,200,000	3,695,661,217	252,538,783
		雑収入	1,375,300,000	1,686,007,689	△ 310,707,689
		教育活動収入計	39,242,200,000	42,426,987,602	△ 3,184,787,602
	支出の部	人件費	16,843,300,000	17,644,206,484	△ 800,906,484
		教育研究経費	18,883,900,000	20,085,731,713	△ 1,201,831,713
		管理経費	3,312,500,000	3,329,288,676	△ 16,788,676
		徴収不能額等	0	14,119,559	△ 14,119,559
		教育活動支出計	39,039,700,000	41,073,346,432	△ 2,033,646,432
教育活動収支差額			202,500,000	1,353,641,170	△ 1,151,141,170
教育活動外収支	収入の部	受取利息・配当金	800,000,000	1,709,000,313	△ 909,000,313
		その他の教育活動外収入	144,800,000	163,783,316	△ 18,983,316
		教育活動外収入計	944,800,000	1,872,783,629	△ 927,983,629
	支出の部	借入金等利息	161,300,000	161,291,157	8,843
		その他の教育活動外支出	87,300,000	118,943,073	△ 31,643,073
		教育活動外支出計	248,600,000	280,234,230	△ 31,634,230
教育活動外収支差額			696,200,000	1,592,549,399	△ 896,349,399
経常収支差額			898,700,000	2,946,190,569	△ 2,047,490,569
特別収支	収入の部	資産売却差額	0	0	0
		その他の特別収入	427,200,000	488,029,052	△ 60,829,052
		特別収入計	427,200,000	488,029,052	△ 60,829,052
	支出の部	資産処分差額	202,500,000	261,642,025	△ 59,142,025
		その他の特別支出	0	1,560,893,857	△ 1,560,893,857
		特別支出計	202,500,000	1,822,535,882	△ 1,620,035,882
特別収支差額			224,700,000	△ 1,334,506,830	1,559,206,830
〔予備費〕			300,000,000		300,000,000
基本金組入前当年度収支差額			823,400,000	1,611,683,739	△ 788,283,739
基本金組入額合計			△ 5,947,300,000	△ 2,318,536,522	△ 3,628,763,478
当年度収支差額			△ 5,123,900,000	△ 706,852,783	△ 4,417,047,217
前年度繰越収支差額			△ 56,350,000,000	△51,630,748,697	△ 4,719,251,303
翌年度繰越収支差額			△ 61,473,900,000	△52,337,601,480	△ 9,136,298,520

事業活動収入計	40,614,200,000	44,787,800,283	△ 4,173,600,283
事業活動支出計	39,790,800,000	43,176,116,544	△ 3,385,316,544

科学研究費助成事業 採択件数および直接経費獲得状況の推移



出典：「科学研究費助成事業 配分結果」（文部科学省）



研究推進機構　総合研究院

総合研究院は、1981年設立の総合研究所を前身とし、総合研究機構を経て2015年に設立された研究推進機構の下に位置する横断的研究組織です。先端的な融合研究を通じて、俯瞰的視野を持つ人材の育成と社会価値の創造に貢献しています。2026年4月現在、研究センターをはじめ、共同利用・共同研究拠点、研究拠点、研究部門など多様な研究組織が活動しています。

研究者プロファイリングツール(Pure)

研究紹介

災害や爆発事故を防ぐには？ 火災・爆発現象の科学的解明を目指して



創域理工学研究科 国際火災科学専攻
桑名一徳教授



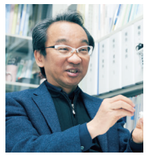
火災や爆発事故による被害は、毎年国内外で報告されています。また、2025年の岩手県大船渡市、2026年の岩手県大槌町など、近年は国内においても大規模な山林火災が相次いで発生しています。これらの被害を未然に防ぎ、万一発生した場合でも影響を最小限に抑えるためには、火災・爆発現象を科学的に理解することが不可欠です。
本研究室では、世界有数の火災実験施設である本学火災科学研究所実験棟の設備を活用した各種実験に加え、屋外での大規模火災実験、理論解析、数値シミュレーションなどを組み合わせた研究を進めています。さらに、学内外の研究者と連携しながら、多様な火災・爆発現象の解明に取り組んでいます。

※2025年4月、岩手県大船渡市で発生した山林火災に関する調査研究が、文部科学省科学研究費助成事業（特別研究促進費）に採択されました。

■ 総合研究院 火災科学研究所

1981年に総合研究所火災科学研究部門（現在、総合研究院 火災科学研究所）を設立して以来、常に火災科学の最前線で火災から人命と財産を守るための安全技術およびそれを支える火災科学に関する研究に取り組んできました。

世界に先駆けたリチウムイオン電池の代替となるナトリウムイオン電池の研究を推進



理学部第一部 応用化学科
駒場慎一教授

希少金属レアメタルを原料とするリチウム電池の代替となるナトリウムなどを原料とした新たな二次電池の開発・研究を行っています。ナトリウムは資源も豊富で原料コストや供給リスクの低減が期待されながら、リチウムより重くエネルギー効率が低いことなどから基礎研究すら行われてきませんでしたが、2004年に九州大学が発表したナトリウムと鉄を組み合わせた電極の研究に衝撃を受け、この研究に着手しました。2009年にナトリウムイオン電池の負極に用いる炭素材料の改良を重ねることで、世界で初めて100回以上の安定的な充放電が可能になることを発表しました。現在はコバルトやニッケルを使わない正極材料を開発、性能を高めることにも成功しました。2026年7月には自身が代表を務める研究課題「ナトリウムイオン電池の技術開発」が国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の「革新型蓄電池技術開発・高度解析」事業に採択されました。

※Clarivate（クラリベイト）社が世界で最も影響力があり高く評価されている研究者を選出・表彰するHighly Cited Researchersにおいて、駒場慎一教授は2019年から複数年連続（2025年版で6回目）で選出されています。

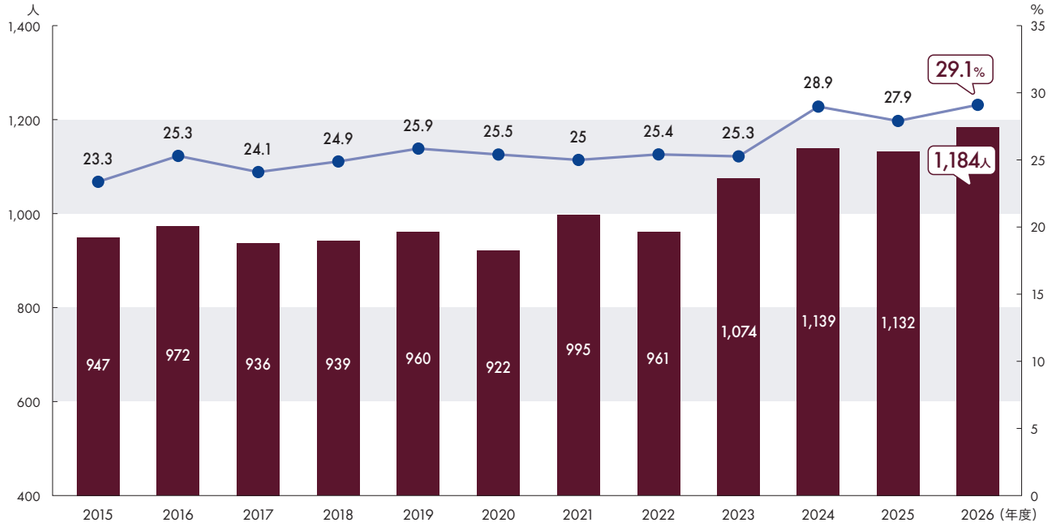
■ 総合研究院 カーボンバリュー研究拠点

2022年に設立されたカーボンバリュー研究拠点。「カーボンニュートラル」に関わる研究分野を大学の戦略的重点分野として位置づけ、世界トップレベルの強みを持つ学内の研究者たちを一堂に集結させる形で組織化されました。

女子学生の増加と支援制度

本学では、入試改革や様々な取り組みにより、理工系分野に関心を持つ女子学生をサポート・応援しています。
結果、2026年度は、学部全体の女子学生の入学割合が30%近くまで上がり、入学者数も4桁を超え、1,184人となりました。

新入生の女子学生数推移



総合型選抜(女子)

2024年度入試から新設された本選抜方式は、近年、政府や産業界から理工系人材育成を求められる中、特に女性人材の拡大が求められる工学系分野で実施するもので、4学部16学科において一定数の女子学生募集枠を設けています。これにより、工学系分野における女子の進学を積極的に支援し、この分野により多くの視点や感性を取り入れ、多様な学生が学びあう環境を整備することで、新しい感性のもとでのイノベーション創出を促進します。

募集学部・学科

- ☑ 工学部全学科
- ☑ 創域理工学部 工学系5学科
  (建築学科、先端化学科、電気電子情報工学科、機械航空宇宙工学科、社会基盤工学科)
- ☑ 創域情報学部 情報理工学科
- ☑ 先進工学部全学科

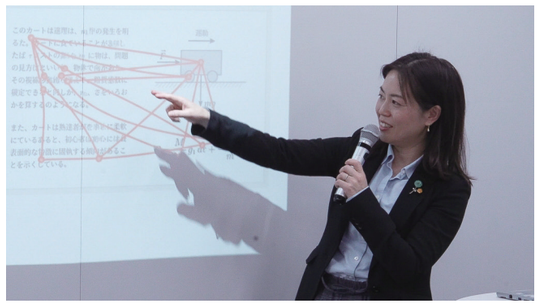
選抜方式

- ☑ 書類審査
- ☑ 面接
- ☑ 口頭試問
- ☑ 小論文

※詳細は募集要項でご確認ください。

女子中高生向けイベント

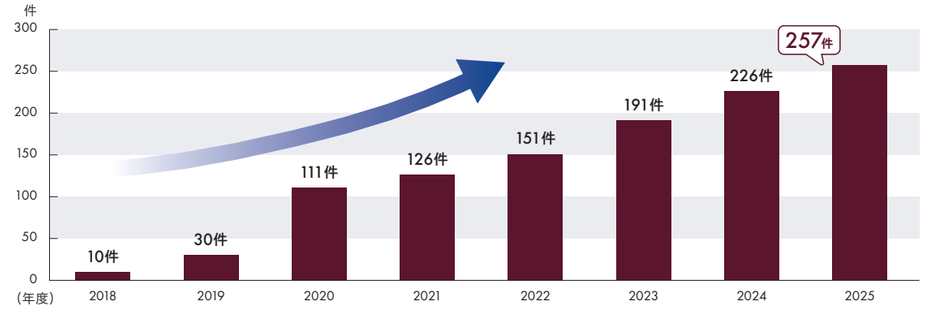
「女性ならではの科学」を基本理念として、強いプロ意識を持ち、新たな科学・技術を創り出すことのできる人材の育成を目指し、「10年後の自分に目覚める」ための手助けをしています。
主な取り組みとして、OG講演会や研究室見学ツアーなど女子中高生向けのイベントを定期開催しています。



大学発ベンチャー企業数の推移

2025年度(令和7年度)大学発ベンチャー実態等調査(経済産業省)で、私立大学2位(全国8位)となりました。
本学では大学発スタートアップの創出と成長支援に力を入れており、産学連携機構と、本学独自のスタートアップエコシステムTUSIDE(Tokyo University of Science Innovation Driven Ecosystem)を基盤として、取り組みを進めています。

本学の大学発ベンチャー企業数の推移



本学の大学認定スタートアップ企業

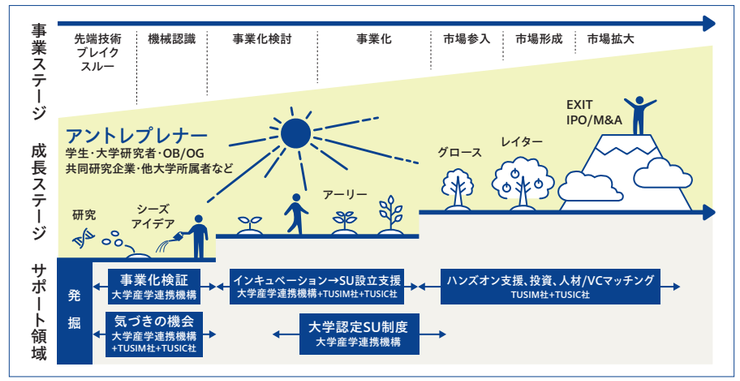
本学の教員や学生による研究成果や学びをもとに生まれたスタートアップを大学が認定し、「東京理科大学発スタートアップ企業」等の称号使用、施設・設備の活用のほか、様々な支援を行う制度を設けています。2026年5月現在、大学認定スタートアップ企業は22件(教員 16件、学生 6件)です。

株式会社イノフィス INNOPHYS (小林 宏)	株式会社MediEng (藤村 宗一郎)	株式会社サイエンス構造 (高橋 治)	イムノジェネテクス株式会社 IMMUNO GENE TEQS (松島綱治・上羽悟史・七野成之)	株式会社preArch (山本 貴博・伊藤 拓海)	CowTech株式会社 (西山 裕之)	株式会社CoreHealth (小林 宏)	株式会社Beyond Optical Technologies (竹村 裕)
株式会社MycoGenome (荒添 貴之)	株式会社Genomyl (前澤 創)	ブルーディア株式会社 (寺島 千晶)	株式会社BRUSH-UP WORKS (保原 浩明)	株式会社XMat (井上 遼・新井 優太郎)	株式会社ツカリマクリ (橋本 永手)	株式会社NiDUS (藤村 宗一郎)	合同会社CureThermo (飯田 努)
株式会社エートスAI 学生 EthosAI (宮崎 海光)	合同会社KeyExpress 学生 (朝倉 拓生)	Aimsales株式会社 学生 Aimsales (根路銘 啓)	株式会社量子総合研究所 学生 量子総研 (谷前 太喜)	合同会社TOONIQ 学生 TOONIQ (大木 天翔)	株式会社SIEVE 学生 sieve (馬場 桜子)		

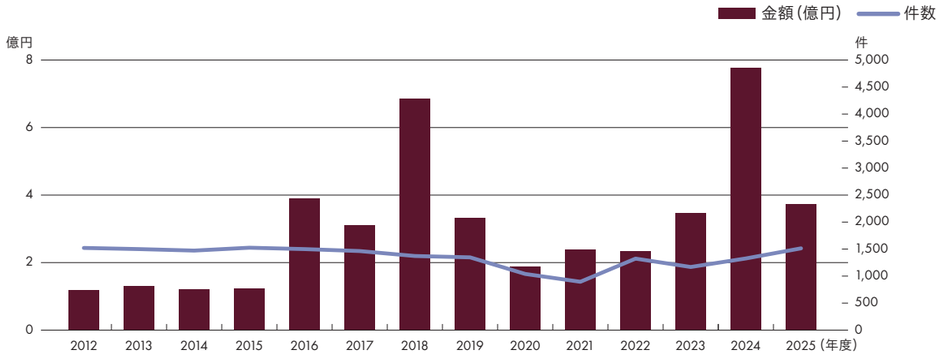
(2026年5月時点)

「TUSIDE」による スタートアップ支援

TUSIDEは、シーズからEXITまで、スタートアップのライフサイクルを横断して支援します。研究成果の知財化から事業化までをワンストップで支援する東京理科大学産学連携機構に加え、東京理科大学インベストメント・マネジメント株式会社(TUSIM社)、東京理科大学イノベーション・キャピタル株式会社(TUSIC社)の3機関で構成され、2022年の立ち上げ以来、一貫した支援体制を構築しています。



寄付金受入額年度推移



東京理科大学の寄付金受入額は、卒業生ならびに法人の皆様方からの継続的かつ着実なご支援により支えられています。皆様からのご寄付は次のとおり学生支援や教育研究推進に還元され、その成果がさらなる発展へとつながる好循環を育んでいます。

各種支援

教育研究支援

教育・研究資金として幅広く活用し、教育研究理念の「自然・人間・社会とこれらの調和的発展のための科学と技術の創造」の実現を目指します。

教　育	● 「データサイエンス教育プログラム」の整備 ● 教育DXの推進 ● 「くさび形教養教育カリキュラム」の導入
研　究	● 女性研究者支援 ● トップ研究者育成支援 ● 国際共同研究支援 ● 次世代研究者支援

キャンパス維持拡充支援

各キャンパスの地域性・特色を生かしてハード・ソフトの両面で、教育研究環境の整備を図ります。

スマート キャンパスの実現	● IT環境の整備 ● キャッシュレス決済　等
エコキャンパスの推進	● カーボンニュートラルを目指した施設・設備 ● 創エネルギー・再生可能エネルギーの利用検討

課外活動支援

課外活動を通じた様々な経験を通し学生は、コミュニケーション能力、企画力や実践力等を身に付けていきます。多様な学生の参加の場を創出し、より大きな企画や活動の機会の中で、学生の人間的成長や想像力・挑戦力の醸成を促進する体制を構築します。

鳥人間コンテスト

2025年7月に行われた第47回鳥人間コンテストでは、「Aircraft Makers」が人力プロペラ機部門で470.87Mを飛行し7位。「鳥人間サークル 鳥科」が滑空機部門で433.02Mを飛行し準優勝という成績を収めました。





指定課外活動サポーターズ

指定課外活動サポーターズは、指定した本学の課外活動団体を支援することを目的とした寄付制度です。団体の活動の充実や発展を目的として活用させていただきます。2025年度はⅠ部体育局ヨット部を指定したご寄付をいただきました。



ヨット部から寄付者への感謝のメッセージ

この度はご寄付をいただき、ありがとうございました。今回頂いた寄付金で、新しいヨットを購入することができ、より充実した練習環境になりました。今後、インカレ(全日本学生ヨット選手権大会)において結果を残せるように今まで以上に練習に励みたいと思います。改めてお礼申し上げます。

奨学金支援

▶ 寄付金による奨学金（給付型）

寄付者（卒業生、企業、個人）の皆様のご支援による冠奨学金制度を拡充し、2022年度の導入以降、現在では23種類（143名採用）を設置しています。多くの寄付者の皆様のご支援が、学生一人ひとりの学びと成長を支える大きな力となっています。

維持会冠奨学金（学部・大学院生対象）

寄付者の意向を重視した冠奨学金制度
年額15万円から50万円を給付
（給付額は奨学金により異なる）
卒業生や企業からの寄付が多くなっています。

※一括して1口300万円を1口以上寄付いただくと、名前を付した奨学金を作っていただけます。

▶ 受給者の声



維持会冠奨学金 / 渡辺一之奨学金

奨学金を受け取ったからには、ここで止まらず頑張り続けたい、自分がしてもらったことを次の世代へつなぐことで、研究の道が閉ざされないようにしたいと強く決意できました。これからも、できる限り研究の道を進み、わくわくするような探究をしたいと思っています。

▶ 本学独自の奨学金（給付型）

東京理科大学は、「誰もが学ぶことができる」をコンセプトに、本学独自の奨学金制度を充実させています。地方から進学する学生や家計急変により修学継続が困難となった学生、入学試験で優れた成績を収めた学生など、多様なニーズに応じた給付型奨学金を整備し、国の修学支援制度や日本学生支援機構（JASSO）の奨学金とあわせて、全学生の約3割に当たる約6,000人を支援しています。

新生のいぶき奨学金（学部生対象）

地方出身者など、自宅からの通学が困難な学生を支援
入試前に申請し、採用条件を得る予約採用型の制度
給付額：40万円、60万円、80万円（学部により異なる）

家計急変奨学金（学部・大学院生対象）

こうよう会（保証人組織）からの寄附
家計急変により修学継続が困難となった学生を支援
授業料の半額を目途に支援

乾坤の真理奨学金（学部・大学院生対象）

学部生（BS）	大学院生（DS）	大学院生（IGF）
入試成績上位者を対象とし、本学への進学を後押し入学前に採用を示す給付型奨学金 給付額：40万円、60万円、80万円 （学部により異なる）	博士後期・博士課程に進学する学生のうち、研究等の業績が特に優れ、人物良好な学生を奨励することを目的とする給付型奨学金 給付額：50万円	創域理工学研究科 国際火災科学専攻修士課程の経済的支援を目的とする給付型奨学金 給付額：50万円

ご寄付のご案内

振込用紙による募集に加え、インターネットからの寄付の受付も行っております。賜りました寄付金は本学の未来ある学生の支援のために活用させていただきます。皆様からの温かいご支援をよろしくお願いいたします。

お問い合わせはこちら

学校法人　東京理科大学
募金事業事務室
〒162-8601
東京都新宿区神楽坂1-3　9号館6階
TEL. 03-5228-8723（ダイヤルイン）
Mail. bokinjigyo@admin.tus.ac.jp

インターネット寄付はこちら

2025年 年間トピックス

Annual topics 2025

TOPICS 01
2025年4月より、葛飾キャンパス「共創棟」の利用開始　薬学部の新拠点に

2025年4月に薬学部・薬学研究科が野田キャンパスから葛飾キャンパスへ移転し、同学部の新たな拠点として、地下2階、地上11階建ての「共創棟」の利用を開始しました。
葛飾キャンパスは2013年に開設し、これまで工学系の学部が所在するキャンパスとして発展してきました。共創棟は薬学部の研究室・教室としての利用にとどまらず、薬工連携をはじめ、分野を超えた教育の実施や研究における新たな連携の推進も目指しています。また、低層部はラーニングスクエアや学生ラウンジなどが配置され、学生の新たな交流の場を創出します。
1階にはスターバックス コーヒーとファミリーマートがオープンしました。




TOPICS 02
2025年「世界のトップ2%の科学者」に本学から80人がランクイン

2025年9月19日（金）に、米国スタンフォード大学とエルゼビア社による「世界のトップ2%の科学者」を特定する包括的リスト「標準化された引用指標に基づく科学者データベース」が更新・発表され、本学から80人が選出されました。
当リストは、学術データベース「Scopus」の情報を基に、22の主要分野および174のサブ分野における研究者を対象として分析したものです。
評価は、総被引用回数、h-index、単著論文数、個別引用論文数など、複数の指標を総合的に用いて行われています。
本学からは幅広い分野の研究者がランクインしており、多様な領域で世界水準の研究活動を展開していることが示されました。

TOPICS 03
東京理科大学 創設者シリーズ 企画展第3弾を開催 ～工学者を育成し、京都の近代化と地域振興に寄与した『京都の3人』難波正・三輪桓一郎・玉名程三～

創立150周年（2031年）に向け、本学の前身である東京物理学講習所の創設に関わった21名の創設者たちを順次取り上げ、その研究と教育活動の軌跡を辿る創設者シリーズの第3弾が、2025年10月1日（水）から12月12日（金）まで開催されました。
京都帝国大学理工科大学長 難波正、京都帝国大学理工科大学教授 三輪桓一郎、第三高等学校教授 玉名程三の3名に焦点を当て、彼らの東京大学理学部物理学科（仏語）を卒業してからのあゆみを辿り、京都大学および京都市の発展に寄与した研究業績や教育者としての人物像を紹介しました。



TOPICS 04
2026年度 東京理科大学 一般選抜志願者数が6万人超に

2026年度 東京理科大学 一般選抜（A方式・B方式・S方式合計）の志願者数が2019年以来7年ぶりに6万人を突破しました。
本学は、2026年4月に創域情報学部情報理工学科および理学部第一部科学コミュニケーション学科を新たに開設したほか、多様な学生を受け入れるために選抜方式を整備するなど、未来を担う人材の育成を目指し、積極的な学部再編および入試改革に取り組んでいます。

（単位：人）

学部学科	共通テスト利用（A方式）				本学独自試験			
	4教科型	3教科型	2教科＋英語資格検定	理学部第二部	B方式	S方式	一般選抜合計	前年比
理学部第一部	2,318	2,256	608	–	6,752	–	11,934	117.8%
工学部	1,849	1,835	421	–	6,787	–	10,892	95.4%
薬学部	947	852	132	–	2,010	–	3,941	97.3%
創域理工学部	3,035	3,166	667	–	8,535	714	16,117	114.3%
創域情報学部	689	612	359	–	2,635	–	4,295	–
先進工学部	1,187	1,281	289	–	5,067	–	7,824	98.4%
経営学部	1,090	784	422	–	3,212	–	5,508	102.5%
理学部第二部	–	–	–	593	875	–	1,468	111.8%
大学合計	11,115	10,786	2,898	593	35,873	714	61,979	114.1%

キャンパス概要

Campus overview

神楽坂キャンパス

[神楽坂校舎]
〒162-8601 東京都新宿区神楽坂1-3　TEL.03-3260-4271(代)
JR総武線、東京メトロ有楽町線・東西線・南北線、
都営大江戸線「飯田橋」駅下車、徒歩5分

[富士見校舎]
〒102-0071 東京都千代田区富士見1-11-2　TEL.03-3556-2505(代)
東京メトロ半蔵門線、東西線、都営新宿線「九段下」駅下車、徒歩8分
JR総武線、東京メトロ有楽町線・東西線・南北線、
都営大江戸線「飯田橋」駅下車、徒歩10分

〈所属学部・大学院〉
学　　部：理学部第一部、理学部第二部、
　　工学部（建築学科夜間主社会人コース）、経営学部
専　攻　科：理学専攻科
大　学　院：理学研究科、経営学研究科（経営学専攻）
専門職大学院：経営学研究科（技術経営専攻）



葛飾キャンパス

〒125-8585 東京都葛飾区新宿6-3-1
TEL.03-5876-1717(代)
JR常磐線（東京メトロ千代田線）「金町」駅／
京成金町線「京成金町」駅下車、徒歩8分

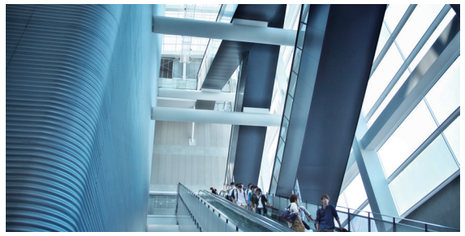
〈所属学部・大学院〉
学　　部：工学部、薬学部、先進工学部
大　学　院：工学研究科、薬学研究科、先進工学研究科




野田キャンパス

〒278-8510 千葉県野田市山崎2641
TEL.04-7124-1501(代)
東武野田線（東武アーバンパークライン）「運河」駅下車、徒歩5分

〈所属学部・大学院〉
学　　部：創域理工学部、創域情報学部
大　学　院：創域理工学研究科、生命科学研究科

北海道・長万部キャンパス

〒049-3514 北海道山越郡長万部町字富野102-1
TEL.01377-2-5111(代)
JR函館本線・室蘭本線「長万部」駅下車、徒歩20～25分・車5分

〈所属学部〉
学　　部：経営学部 国際デザイン経営学科（1年次のみ）